

## 第36回全日本U-12フットサル選手権大会 十勝地区予選

### 開 催 要 項

- |    |           |   |
|----|-----------|---|
| 1  | 主 旨       | 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。<br>また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の<br>健全な心身の発育・発達を図ることを目的とする。  |
| 2  | 日 時       | 2026年2月14日(土)～15日(日)  |
| 3  | 会 場       | 2月14日(土)： サンドームおとふけ、札内スポーツセンター<br>2月15日(日)： サンドームおとふけ   |
| 4  | 主 催       | (一社)十勝地区サッカー協会  |
| 5  | 主 管       | (一社)十勝地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟・十勝フットサル連盟   |
| 6  | 後 援       | 音更町教育委員会、幕別町教育委員会   |
| 7  | 参 加 資 格   | (1) フットサルチームの場合<br>公益財団法人日本サッカー協会（以下、「JFA」という。）に「フットサル4種」<br>の種別で加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。<br>一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。<br>(2) サッカーチームの場合<br>JFAに「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを<br>含む）。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。<br>一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。<br>(3) 前項の(1)と(2)のチームに該当する選手のうち、U-6カテゴリーに属する選手の参<br>加は認めないものとする。<br>(4) 前項の(1)と(2)のチームは、12歳未満の選手により構成されるチームである。<br>ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。<br>(5) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする（準加盟チームを除く）。<br>(6) 本大会の予選（地区・ブロック）を通して、選手は他のチームで参加していないこと。<br>所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサル<br>チームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。<br>(7) 前項の(1)～(6)の選手は、男女の性別を問わない。<br>(8) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。<br>(9) 複数チームの参加要件は予選消化が可能な場合で、5学年の人数が14名を超える<br>チームに限り認めるものとする。<br>(10) 審判帯同制につき審判割り当て通り審判任務を遂行出来るチームに限る。<br>(11) 2日間組み合わせ通りに参加出来るチームに限る。<br>(12) （公財）北海道サッカー協会（以下、「HKFA」という）における本大会フット<br>サル登録料を納入完了していること。<br>(13) 当該年度の（一社）北海道フットサル連盟（以下、「HFF」という。）に加盟した<br>チーム。（HFFのフットサル登録料の振込完了を以って加盟したチームとする。） |
| 8  | 大 会 形 式   | (1) 参加チームを4ブロックに分けたトーナメント戦（ノックアウト方式）とする。<br>(2) 各ブロック優勝チームが道東ブロック大会への出場権を得る。<br>※ （大会形式は参加チーム数により変更あり。）   |
| 9  | 競 技 規 則   | 大会実施年度のJFAフットサル競技規則による。   |
| 10 | 競 技 会 規 定 | 以下の項目については本大会で規定を定する。<br>(1) ピッチ：<br>① ピッチの大きさ：32m×16m<br>センターサークルの半径：2.5m<br>ペナルティーエリア四分円の半径：5m<br>ペナルティーマーク：5m<br>第2ペナルティーマーク：8m<br>交代ゾーンの長さ：4m<br>② 守備側競技者のボール等から離れる距離<br>フリーキック：4m、コーナーキック：4m、キックイン：4m<br>(2) ボール： 試合球：ミカサ製ALMUNDO（FS350B-YP）3号球ボール<br>(3) 競技者の数：<br>競技者の数：5名、交代要員の数：10名<br>ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内。<br>(4) ベンチに入ることができる人数は交代要員10名以内、役員2名以上4名以内とする。   |

ただし、5 学年だけで人数を超えるチームはその人数分だけ登録、ベンチ入り  
を特別に許可する。(地区大会のみ適用のルールである)

(5) ユニフォーム

- ① J F A のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副  
のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合  
には正副ともに必ず携帯すること。  
※ソックスは競技規則に沿ったものでかつ、チーム内で色彩を統一すること。
- ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確  
に判別し得るものであること。
- ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる  
場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一の  
デザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツに  
も選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩で  
あり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑥ 選手番号については1 から 9 9 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキ  
ーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の  
番号を付けること。
- ⑦ ユニフォームにゼッケン(張り番)が必要な場合は、ユニフォームと同色の布に  
番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。
- ⑧ ユニフォームへの広告表示については、J F A の承認を受けている場合のみこれ  
を認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等  
の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑨ フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としな  
い。アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。
- ⑩ その他のユニフォームに関する事項については J F A のユニフォーム規程に則る。

(6) 靴: キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来  
ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニ  
ングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび  
靴底が着色されたものは使用できない。)

なお、チーム役員にも適用する。

(7) ビブス: 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。  
ビブスは対戦チームとの重複を避けるためにも複数色用意すること。

(8) 試合時間

- ① 試合時間は1 6 分間(前後半各8 分間)のプレーイングタイムとし、  
ハーフタイムのインターバルは3 分間(第1 ピリオド終了から第2 ピリオド開始  
まで)とする。 ※チーム数により変更あり。
- ② 敗者交流戦を設定する場合、試合時間は2 0 分間(前後半各1 0 分間)のラン  
ニングタイムとする。ハーフタイムのインターバルは3 分間(第1 ピリオド終了  
から第2 ピリオド開始まで)とする。

(9) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

- ① 勝者が決定しない場合は P K 戦(5 人)で勝者を決定する。
- ② 敗者交流戦を設定する場合は引き分けで終了する。
- ③ 決勝戦において勝敗が決定しない時は、6 分間(各ピリオド3 分間)のプレーイ  
ングタイムの延長戦を行い、決しない場合は P K 戦により勝敗を決定する。  
延長戦に入る前のインターバルは2 分間、P K 戦に入る前のインターバルは1  
分間とする。
- ④ 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった  
場合には、その帰責事由のあるチームは0 対5 または、その時点のスコアがそ  
れ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(10) タイムアウトは準決勝・決勝で適用する。ただし、敗者交流戦を除く。

(11) (競技規則第8 条に定められている)キックオフの進め方に関し、本大会ではホーム  
チームは存在しないものとして、対戦表の左(上)側に記載されたチームが、第1 ピリ  
オドにピッチに向かって左側のベンチに入り、右側のゴールに攻める。

11 マッチウェル  
フェアオフィサ

本大会の各ブロック決勝戦(代表決定戦)に配置する。

12 懲 罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰  
問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の地区予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場  
停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会で退場を命じられた選手は、自動的に次の1 試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1 試合に  
出場できない。

- (5) 前項(4)により出場停止処分を受けたとき、また、本大会終了のときに警告の累積は消滅する。
- (6) 本大会終了時点で本地区代表の未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式大会にて消化する。ただし、警告の累積によるものは除く。
- (7) その他、本大会の懲罰に関する事項に関しては本大会の大会規律委員会が決定する。
- 13 参加申込み
- (1) 参加申込書に記載できる人員は選手20名、役員4名までとする。  
(登録、ベンチに入ることができる人数は10。競技会規定に則る)
- (2) 参加申し込みは所定の用紙に必要事項を記入し期日までに下記申し込み先まで電子メールで送付すること。
- (3) 下記大会参加料を期日までに納入完了すること。  
**参加料12,000円(フットサル登録料5,000円と連盟負担金5,000円を含む)**
- ただし、北海道フットサル連盟加盟料3,000円(1団体につき年に1度限りの納付)が未払いのチームは **12,000円+3,000円=計15,000円** を納入すること。  
**※今年度 全道フットサル選手権大会2026 U-12の部 十勝地区予選に参加していないチームが対象となる。**
- また、サッカー登録チーム以外でフットサルチームの場合は問い合わせすること。
- (4) 複数チームの参加要件を満たし、複数チーム参加を希望する場合は、1チームで出場する場合の申し込みと1チーム分の参加料を振込し、複数チームの参加意思を事務局に連絡しておくこと。参加チーム数により複数参加が可能な場合に限り、申し込み締め切り後5学年の人数が多いチームから順に参加を認めることがあるので事務局より連絡があった場合に限り参加申し込み書の再提出、追加参加料の振込を行うこと。  
(事前に複数チームの振込があったチームはこの件から除外する。)
- (5) **申込締切 2026年1月26日(月) 17:00**  
**(期限の過ぎたもの、所定ファイル以外での申し込みは、一切受付しない。)**
- (6) 監督会議以降は参加申込書の変更を認めない。
- (7) 申し込み先  
(一社)十勝地区サッカー協会4種事務局次長 吉田慎也  
Email : shi.yoshida48@gmail.com  
大会参加料等振込口座(振込用紙に必ず大会名、チーム名を記載すること)  
銀行名: ゆうちょ銀行  
口座番号: 02730-8-39544(郵便振替口座)  
口座名: 十勝少年サッカー連盟
- 14 問 合 せ
- 【申し込みについての問い合わせ】  
(一社)十勝地区サッカー協会4種事務局次長 吉田慎也 (携帯: 090-2875-3986)  
【競技事項についての問い合わせ】  
(一社)十勝地区サッカー協会4種委員長 宇野和哉 (携帯: 090-2814-2267)
- 15 監督会議
- 2026年2月5日(木) 19:00~(予定) ZOOMオンラインによる**  
**※WEB会議ツールがZOOMから変更になる可能性があるため、その場合は別途案内する。**
- 16 審 判
- (1) 参加チームはフットサル公認審判員3級以上の者1名とフットサル公認審判員4級以上の者1名を登録し、当該4名で割当てどおり審判運営に当たる。
- (2) 3級以上のフットサル公認審判員を常同出来ないチームは、4級のフットサル公認審判員1名を確保するとともに、1試合ごとと不常同審判料3,000円を当協会に納入すること。
- (3) 原則として監督会議以降の審判員変更は認めない。  
【審判についての問い合わせ】  
(一社)十勝地区サッカー協会4種審判委員長 喜多翼 (携帯: 090-2076-8786)
- 17 表 彰
- 組合わせにより別途定める。
- 18 そ の 他
- (1) 選手証の確認  
各チームの登録選手はJFA発行の選手証を持参しなければならない。  
ただし、写真貼付により顔の認識ができるものであること。  
※選手証とはJFAWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものである。
- (2) メンバー票の提出  
登録メンバーが15名を超えるチームは申込書を使用し試合毎ベンチ入りしない選手を抹消し試合開始20分前まで大会本部に提出すること。
- (3) 選手の資格に関して不都合な行為があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (4) 監督会議に無断欠席したチームは本大会の出場を停止することもある。
- (5) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上

対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

- (7) 本協会が定めた公共施設使用のルール、マナー厳守も大会参加要件とする。
- (8) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料水は水のみに限定する。
- (9) 参加チームはスポーツ保険またはそれに準じた保険（物損等損害賠償が対象となるもの）に加入していること。
- (10) 競技の如何を問わずチームの行為に起因して施設や用具を破損した場合は、当該チームがその実費を弁償すること。
- (11) 本要項に記載のない事項に関しては、本協会大会本部において決定する。
- (12) 道東ブロック大会 日時 2026年3月14日(土) 場所 釧路地区